

高知県環境活動支援センターえこらぼ

令和7年度の取り組み

令和7年4月～令和8年3月

高知県環境活動支援センターえこらぼについて

高知県環境活動支援センターは、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すために平成 18 年 4 月に設置されました。以来、県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っています。

も く じ

1 環境活動に関する情報発信	1
1) ホームページによる環境活動情報の提供	2
2) ホームページ以外の情報提供	2
2 地域や教育現場における環境学習の支援	3
1) 環境学習講師の紹介・派遣	3
2) 第14回 高知「環境絵日記」	4
3) こどもエコクラブ事業	11
3 生物多様性地域戦略推進事業	13
1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催	13
2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアーの実施	13
3) 生物多様性こうち戦略推進リーダースキルアップ講座の実施	14
4 環境イベントの開催	16
1) 「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」の開催	16
2) 自然観察会、ワークショップ等の環境学習会の開催	17
5 生物多様性の意義の普及・啓発	19
1) ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞	19
2) 観光ガイドのための生物多様性講座	21
3) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し	22
6 環境活動団体の支援	22
1) 助成金情報の提供	22
7 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務 ...	23
1) 環境学習プログラムリストの作成・活用	23
2) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布	24
8 PR活動	25
1) PR ツールの活用	25
2) 報道機関への情報提供	25
9 センターの運営	26
1) センターの開館日及び開館時間	26
2) 運営委員会の組織・運営	26
3) 高知県との定期連絡会の開催	26

1 環境活動に関する情報発信

■高知県環境活動支援センターえこらぼ ホームページ

高知県環境活動支援センター
えこらぼ

管理運営団体：特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home About mail f @ X

えこらぼについて

イベント情報

お知らせ・募集情報

学校や地域での環境学習をサポート
講師紹介・派遣

体験プログラムや学習会に参加しよう
高知県の環境学習施設一覧

活動を知ろう・なかまを増やそう
環境活動団体紹介

生物多様性を守る取り組み

高知「環境絵日記」

子どもエコクラブ高知県事務局

メールマガジン
「えこらぼだより」

助成金情報

リンク集

お問い合わせ

サイトマップ

**令和7年度
高知「環境絵日記」
選考結果発表**



トピックス

◆えこらぼの所在地・ご利用時間◆
高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター「ソーレ」3F
(NPO法人 環境の杜こうち)
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205
E-mail：center@ecolabo-kochi.jp

◇ご利用時間◇
月曜日 10:00～17:00 火～金曜日 10:00～18:00
※土曜日、日曜日、祝日、第2水曜日休み
環境活動や環境学習に関するご相談など、お気軽にご利用ください。

イベント新着 お知らせ新着 助成金新着 ←見たい情報タグをクリックください

2026/03/03 【イベント情報】
見て・感じて・つくるー物部の森でスケッチ散歩x革小物づくり (4/1) [詳細](#)

2026/03/03 【イベント情報】
親子イベント「春の里山散策」 (3/29) [詳細](#)

2026/03/03 【イベント情報】
空海ゆかりの地・室戸 視文化をひらく「まがりラボ 視・書道ワークショップ」 (3/22) [詳細](#)

2026/03/03 【イベント情報】
春の息吹を探そう 山菜を天ぷらにして食べてみよう (3/22)

こーちの
子どもエコクラブ

高知県自然共生課
Nature Symbiosis Division

高知県林業振興・環境部
環境計画推進課

高知県地球温暖化防止
県民会議

高知県地球温暖化防止
県民会議 県民部会

KCCCA
高知県地球温暖化防止センター

交通エコポイント活用推進センター
エコポイント

四国EPO

高知家で暮らす。

**令和7年度
高知「環境絵日記」
選考結果発表**

第6回
こちエコ川柳大賞
選考結果発表

子どもエコクラブ
JUNIOR ECO-CLUB

環境関連のイベント・ニュースを配信
メールマガジン
えこらぼだより

■管理運営団体
特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home About mail f @ X

Copyright © ecolabo All Rights Reserved.

1) ホームページによる環境活動情報の提供

① 環境活動団体及び環境学習講師のデータベース（検索機能付）

県内で環境活動に取り組む団体や環境学習講師として活動する方々を登録し、データベースを公開しています。登録内容の確認・更新作業を定期的に行い、新しく登録した団体や講師に関する情報も随時掲載して、広く県民に情報を提供しています。

[登録]	環境活動団体：123 団体	環境学習講師：137 名（非公開 4 名を含む）
------	---------------	--------------------------

② 環境学習に係る施設、各種資料等

県内で自然体験や環境学習プログラムを提供している施設に関する情報をホームページで公開し、環境学習に関する相談等への対応においても積極的に紹介して、利用を促しています。また、国や各種機関等が環境問題に関する情報を提供するウェブサイトへのリンク集を作成し、県民が最新の情報にアクセスできるよう支援しています。

③ 環境関係のイベント情報や助成金情報の提供

高知県内の環境イベントや助成金等の情報を独自に収集するとともに、環境活動団体等から寄せられる情報も加えて、メールマガジン「えこらぼだより」と連動して毎週火曜日に情報を更新しています。

[掲載件数]	イベント情報：225 件	募集・お知らせ：31 件
	助成金情報：57 件	

2) ホームページ以外の情報提供

① メールマガジン「えこらぼだより」の配信

高知県内で実施される環境に関するイベント情報や助成金情報などを、毎週火曜日に配信しています。配信登録は随時ホームページから行うことができます。

[配信頻度]	毎週火曜日	[登録者数]	1,083 名
[主な配信先]	環境に関心のある県民、県内の環境活動団体、県内の小・中・高等学校、県・市町村職員、県内マスコミ各社 など		

② 学校への直接的な情報提供

学校や教育委員会等に対し、えこらぼの紹介・利用案内資料を送付するとともに、環境学習講師の紹介・派遣や高知「環境絵日記」等の学校を対象とする各種事業に関する情報提供を随時行いました。

③ SNS を活用した情報の発信

センターが実施する各種事業の告知・報告等に SNS を積極的に活用するため、Instagram と X のアカウントを開設し、Facebook と合わせて情報発信を行いました。

[情報発信回数とフォロワー数]					
・ Facebook	25 回	847 名	・ Instagram	29 回	212 名
・ X	8 回	12 名			

2 地域や教育現場における環境学習の支援

1) 環境学習講師の紹介・派遣

学校や放課後児童クラブ、企業・団体及び一般の県民の方々等からの相談に随時対応し、適切な環境学習講師の紹介、提案、派遣日時や内容等の調整といったコーディネートを行っています。また、相談者が講師の謝金、旅費等を負担しえない場合は、講師に活動費を支給して、県民の環境学習の場、機会づくりを支援しています。

令和7年度は、小学校だけでなく中学校や高校で行われる探求学習や未就学児の自然体験などにも講師を紹介・派遣し、幅広い層を対象に環境学習の機会を拡充しました。

〔講師紹介・派遣件数〕	76件	〔紹介・派遣した講師〕	延べ95名
〔環境学習受講者数〕	2,507人		



1/14 南国市立大篠小学校
「海ごみ拾い」
講師：内田 洋子 さん



1/8 南国市立岡豊小学校
「牛乳パックでリサイクルはがきづくり」
講師：うみのこども さん



7/28 高知県立春野高等学校
「水生生物探求」
講師：石川 妙子 さん



2/12 高知市立旭東小学校
「昔のくらし（七輪）体験」
講師：くらしと炭焼きの会 さん

2) 第14回 高知「環境絵日記」



高知県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動し、その経験を絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を実施しています。

令和7年度は、作品テーマを「ぼくの・わたしのエコ万博」とし、県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集。89の小学校から、3,416作品の応募がありました。

作品テーマ	ぼくの・わたしのエコ万博
募集期間	令和7年6月6日～9月8日
応募資格	高知県内の小学校に通う1～6年生 自筆・未発表の作品
応募方法	在学の小学校へ提出（学校ごとに取りまとめて応募）
協力	横浜市資源リサイクル事業協同組合

① 令和7年度応募数

応募作品数	県内小学校児童数※	応募率	参加学校数	県内小学校校数※	参加率	参加市町村数	県内市町村数	参加率
3,416	28,982	11.8%	89	222	40.1%	28	34	82.4%

※高知県「令和7年度学校基本調査」（高知県教育委員会事務局）による。

② 選考委員会の開催

有識者5名からなる選考委員会を開催し、募集要項および作品テーマの決定、表彰対象作品の選考を行いました。

	開催日	内容
第1回選考委員会	令和7年 5月21日	募集要項、作品テーマの決定等
第2回選考委員会	令和7年 10月22日	二次選考および優秀作品選考会

③ 作品選考会の実施

令和7年10月18日に、生物多様性こうち戦略推進リーダー、高知県地球温暖化防止活動推進員等からなるボランティア選考員による一次選考会を行い、二次選考の対象となる107作品を選考しました。10月22日には、選考委員会による二次選考および優秀作品選考会を行い、環境絵日記大賞、優秀特別賞、部門賞、学校賞、学校特別賞の選出をしました。また、のいち動物公園にて、のいち動物公園長賞を選出しました。

■個人の部

環境絵日記大賞 全作品から最も優れた作品1点
 優秀特別賞 低学年の部(1~3年生)、高学年の部(4~6年生)より10点
 部門賞 脱炭素社会づくり賞、循環型社会づくり賞、
 自然共生社会づくり賞 各1点
 のいち動物公園長賞 1点
 入賞(えこらぼ賞) 全作品の中から92作品

■団体の部

学校賞 入賞作品の多い学校から低学年、高学年それぞれ1校ずつ
 学校特別賞 特に熱心な取り組みをした学校を3校

④ 選考結果の発表

選考結果の発表は、令和7年10月31日にホームページで行いました。



■環境絵日記大賞

津野町立葉山小学校 3年 北川 菜大

■優秀特別賞 10名

- 香美市立楠目小学校 1年 原 ひなた
- いの町立川内小学校 1年 佐藤 快衣
- 土佐市立波介小学校 2年 上村 心乃
- 南国市立大篠小学校 2年 多田 袖季
- 四万十町立窪川小学 3年 北村 一華
- 香南市立野市小学校 4年 大賀 美智子
- 須崎市立多ノ郷小学校 4年 西村 太希
- 高知市立布師田小学校 4年 坂本 紘
- 須崎市立上分小学校 5年 植村 和希
- いの町立枝川小学校 5年 片岡 咲人

■脱炭素社会づくり賞

高知市立第四小学校 6年 伊藤 こはる

■循環型社会づくり賞

香南市立野市小学校 4年 水田 裕貴

■自然共生社会づくり賞

須崎市立多ノ郷小学校 4年 濱田 結叶

■のいち動物公園長賞

土佐清水市立三崎小学校 5年 窪内 瑛音

■団体の部

- ・学校賞低学年の部 高知学園高知小学校
- ・学校賞高学年の部 高知学園高知小学校
- 須崎市立多ノ郷小学校
- ・学校特別賞 3校 南国市立三和小学校
- 高知市立春野西小学校
- 土佐清水市立三崎小学校

令和7年度高知「環境絵日記」講評 —ぼくの・わたしのエコ万博—

今年のテーマは「ぼくの・わたしのエコ万博」

今年の高知「環境絵日記」のテーマは本年の大阪・関西万博開催にちなんで「ぼくの・わたしのエコ万博」にしました。万博は万国博覧会を略した名称で、世界各国が最新の技術や文化を紹介し合う国際的な展示会です。大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、持続可能な社会の実現、地球環境の保全など、人類が直面するさまざまな課題に対して解決策を見出しているという意図が込められていました。

高知県には魅力的な自然環境があり、それを守ろうとがんばっている地域の人たちがいます。児童のみなさんも高知県の自然環境を守るために何をしたらよいかを考え、実行した人もたくさんいるでしょう。そうした自然環境や地域の人々、みなさんの環境保全のアイデアを世界に発信してもらいたいと思い、今年のテーマを「ぼくの・わたしのエコ万博」にしました。みなさんの体験や発見、伝えたいことを万博というテーマと関連づけることは少し難しかったかもしれませんが、今年作品には、児童のみなさんの、伝えたいという気持ちが溢れたものが多く、選考委員も喜んでます。「日常のくらしの中で感じた」気持ちを表現したり、「身近なところから視野を広げて、世の中の動きなどを考えた」作品、「体験に関わった人や地域などを自分の言葉で表している」作品がたくさんありました。

環境絵日記大賞は「みんながえがおの日」

本年度の「環境絵日記」大賞には「みんながえがおの日」が選ばれました。葉山には、一年に一度、みんなが笑顔になる日があるんですね。なかなかつかめない、つかめたけどぬるぬると逃げていくなぎのつかみどりがあり、つかまえた魚をみて「たくさんとれたね」とほめてくれるおじさん、どこのものよりもおいしいカレーをつくってくれるおばさんがいるイベントは子どもたちだけでなく、大人もみんな笑顔になるんですね。環境絵日記からは、おじさんの「満面の笑み」がよく伝わってきます。その顔は目を細め、目じりを下げて、大きな口をあけて笑っていますが、未来の葉山や葉山の自然を守ろうとする子どもたちを育てているという充実感もみてとれます。葉山のおじさんやおばさんは、豊かな自然環境を守るために毎年広場や川をそうじする取り組みにみなさんが参加してくれるよういろんな工夫してくれているんですね。「そんな人たちがたくさんいるぼくの町がぼくのじまんです」という言葉が今後も葉山でつながっていくことを予感させてくれる、すばらしい作品でした。

子どもたちの心の動きが伝わる環境絵日記



優秀特別賞や各賞にもたいへんよい作品があり、今年も選考に苦労しました。みなさんのまわりにはたくさんの生き物がいるんですね。片岡さんの作品には隠れたヒーローであるアシダカグモ、植村さんの作品にはオレンジ色に光る眼をもったテナガエビ、濱田さんの作品は大阪関西万博のテーマと同様「命をつなげた」アゲハチョウが出てきます。あぶらまみれになっていたネコ、森を追われたクマも涙を流していて、そこに書かれた文章には考えさせられることが多くありました。また、家族や地域の人との体験が描かれている作品もありました。北村さんの作品には、キャンドルの明かりのなかでゆっくり話をしたお母さん、大賀さんの作品には「こまけえことは気にせられな」と明るく言ってくれるおばあちゃん、多田さんの作品には地球温暖化の原因について教えてくれるママ、西村さんの作品にはクスノキの周りにはいる友達や地域の人々など、魅力的な人がいっぱいいます。

応募された作品にはいずれもみなさんの体験したことや学んだことが表現されているだけでなく、心が動いたことをしっかりと表現しようとしていることが感じられました。同じ題材でもみなさんの感じ方、考える視点が異なっていて、物事を多面的にとらえている点が興味深く、感心しました。

またおしくも入賞をのがした作品にも、県民のみなさんに見ていただきたい作品がたくさんありました。HPにアップされている「えこらば賞」の作品もぜひご覧ください。きっと世界の人たちに伝えたいようなエコロジー活動や家族や地域の人たちに出会えると思います。これからも、家族や地域のみなさんと一緒に身近なエコにチャレンジして、来年もぜひ応募してください。

令和7年度高知「環境絵日記」選考委員会

⑤ 表彰式

「環境絵日記大賞」、「優秀特別賞」、「部門賞」、「のいち動物公園長賞」の受賞児童、「学校賞」および「学校特別賞」の受賞校を表彰しました。表彰式は高知県立のいち動物公園内のイベントスペースで行い、家族や先生方の見守る中、受賞児童一人ひとりに表彰状を手渡しました。

開催日	令和7年11月23日(日) 11:00~12:00
場 所	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館1階



⑥ 作品展

表彰式と同時に行う高知県立のいち動物公園での入賞作品展をはじめ、県内の施設やイベント等で作品展を行いました。

日 程	会 場	
5月1日~5月6日	第37回 Tシャツアート展 ※令和6年度入賞作品	砂浜美術館
8月19日~8月28日	こうち環境博2025「SDGs 環境にやさしい企業・団体展」 ※令和6年度入賞作品	こうち男女共同参画センター ソーレ
8月30日	こうち環境博2025 ※令和6年度入賞作品	高知市文化プラザかるぼーと
11月3日	マグロまつり in 大月町産業祭	大月町総合グラウンド
11月15日~11月30日	高知「環境絵日記」入賞作品展	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館
12月22日~1月15日	高知「環境絵日記」入賞作品展	こうち男女共同参画センター ソーレ
1月7日~1月28日	高知「環境絵日記」作品展	サニーマート四万十店
1月8日~1月15日	高知「環境絵日記」作品展	サニーアクシス南国店
1月22日~2月4日	高知「環境絵日記」入賞作品展	オーテピア高知図書館2階
2月2日~2月26日	高知「環境絵日記」作品展	サニーアクシスいの店
2月14日	環境活動見本市 in 黒潮町	土佐西南大規模公園ふるさと総合センター



11/15~11/30 高知県立のいち動物公園



2/14 環境活動見本市 in 黒潮町

⑦ こうち「環境絵日記」 in Tシャツアート展



黒潮町で開催された「Tシャツアート展」(令和7年5月1日(木)~5月6日(火)、主催:特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館)に、令和6年度の優秀作品を出展し、県民に広く環境絵日記を知ってもらう機会としました。展示後のTシャツは記念品として受賞児童に贈りました。

また、次回の「Tシャツアート展」(令和8年5月開催)に出展するため、今年度の優秀作品をプリントしたTシャツを制作しました。制作したTシャツは、11月に県立のいち動物公園で実施した入賞作品展の会場で一足先に展示し、PRを行いました。

⑧ 参加賞『高知「環境絵日記」 えこらぼノート』の製作

高知「環境絵日記」の参加賞として自由帳を製作し、全応募児童に贈りました。子どもたちに高知県の自然や環境への関心を高めてもらえるよう、表紙で「高知のめずらしいいきものシリーズ」としてツキノワグマを取り上げ、認定NPO法人四国自然史科学研究センターによるツキノワグマの生態についての解説文を掲載しました。



仕様： B5版 28ページ 製作部数：3,470部

⑨ 高知「環境絵日記」PR 用カレンダーの製作

高知「環境絵日記」の認知度向上と、次年度の参加校拡大につなげるため、今年度の優秀作品を掲載したカレンダーを製作しました。このカレンダーは、令和 8 年度の募集に合わせて、県内の小学校等へ配布します。

仕様： A4 版 16 ページ 製作部数：700 部



⑩ 地域における環境絵日記の活用

◇『高知「環境絵日記」大月賞』

大月町では、平成 30 年度より、町内の小学生が応募した環境絵日記を独自に選考・表彰する『高知「環境絵日記」大月賞』が実施されています（主催：NPO 法人大月地域資源活用協議会）。令和 7 年度は、大月町産業祭で作品展が行われ、えこらぼから作品データの貸与などの協力をしました。



◇南国市・いの町 指定ごみ袋包装紙による普及啓発

南国市といの町では、各市町指定のごみ袋の包装紙に、地域の小学生が描いた環境絵日記の作品を掲載しています。この取り組みは、南国市では平成 25 年度から、いの町では令和元年度から実施されています。「環境絵日記」を通して子どもたちの環境意識を地域の方々に伝えることで、ごみ減量やリサイクルの推進に向けた普及啓発につながることを期待されます。



⑪ 高知「環境絵日記」サポーターの募集

高知「環境絵日記」の趣旨に賛同する企業や団体を対象に、一次選考会への社員等の参加、作品展の開催などの協力を行う「環境絵日記サポーター」を募集しています。

協力団体・企業：NPO 砂浜美術館、株式会社サニーマート、高知県立のいち動物公園、セルクルデザイン工作室、筒井紙業印刷株式会社、特定非営利活動法人大月地域資源活用協議会、横浜市資源リサイクル事業協同組合

株式会社サニーマート様では、県内の3店舗において作品展を開催していただきました。

展示期間	店舗名	展示内容※
1月7日～1月28日	サニーマート四万十店	四万十市、土佐清水市の小学校の作品
1月8日～1月15日	サニーアクセス南国店	南国市の小学校の作品
2月2日～2月26日	サニーアクセスいの店	いの町、土佐市の小学校の作品

※作品の公開に同意された方の作品のみ



サニーマート四万十店



サニーアクセス南国店



サニーアクセスいの店

⑫ 全国環境絵日記との連携

「環境絵日記」は全国で取り組まれており、「全国環境絵日記 web 展示場」には、他地域の作品とともに、高知県の応募全作品（公開に同意された方の作品のみ）も掲載されています。また、横浜市で開催された「SDGs 未来都市・環境絵日記展 2025」（主催・横浜市資源リサイクル事業協同組合）では、高知県の作品展示に加え、横浜市と高知県の大賞受賞者がオンラインで交流するなど、「環境絵日記」に取り組む他地域との連携・交流も行っています。



◇他地域での展示

地域	展示イベント等	期間
神奈川県	SDGs 未来都市・環境絵日記展 2025（横浜市役所 1階 展示スペース）	11/30～12/7
神奈川県	第2回 逗子 SDGs 絵日記展（逗子市民交流センター2階）	12/14～12/21
神奈川県	SDGs 未来都市・環境絵日記展 2025（JICA 横浜 2階回廊ギャラリー）	2/3～2/26

3) こどもエコクラブ事業

高知県事務局および市町村事務局のない区域の事務局として、県内の小中学校や企業・団体等へのこどもエコクラブの紹介および新規登録の勧誘、登録クラブの地域での環境保全活動や環境学習に対する支援を行っています。

高知県内のこどもエコクラブ 登録数：9クラブ メンバー数：58人

- ① こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」への応募促進
子どもたちが活動で感じたことや気づいたことをまとめて活動をふりかえる、こどもエコクラブ全国事務局実施の「全国エコ活コンクール」壁新聞部門の応募促進と取りまとめをしました。

応募数：2クラブ 3作品

高知県代表には「香美市こどもエコクラブ あきらめずにがんばる6人組」の作品「地球を笑顔に私たちのチャレンジ！」が選ばれ、3月21日に東京で開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル2026」で展示されました。



- ② こどもエコクラブ壁新聞展の開催

令和7年8月19日(火)～28日(木)、8月30日(土)に「こうち環境博2025」の各会場において、2024年度「全国エコ活コンクール」壁新聞部門の入賞作品10点を展示し、こどもエコクラブ活動の普及を図りました。



- ③ こどもエコクラブ高知県オリジナルバッジの配布

県内のこどもエコクラブの子どもたちに、高知県が作成した活動年数ごとにデザインが異なるオリジナルバッジを配布し、こどもエコクラブ活動を継続する意欲を高めました。



- ④ 「こうち環境博2025」への出展

令和7年8月30日(土)、こうち環境博2025(場所：高知市文化プラザかるぽーと7階)において、こどもエコクラブのブースを出展し、高知市立浦戸小学校エコクラブの取組を紹介するなど、こどもエコクラブの活動の周知を図りました。

⑤ 「こどもエコ活交流会」の開催

こうち環境博 2025 に参加した、高知県内のこどもエコクラブおよび子どもが主体となって環境活動に取り組むグループを対象に、交流会を開催しました。



日 時：令和7年8月30日（土）13:00～14:00

開催方法：「こうち環境博 2025」と同時開催

参加クラブ：香美市こどもエコクラブ、鏡川水生生物研究会、ジンド池生物研究所、高知商業高等学校ジビエ部、土佐塾中学・高等学校科学部、高知大サークルかめイズム

参加者：24名（6グループ+サポーター等）

⑥ こどもエコクラブ活動の支援

◇イベント「第3回 地球はともだち よってたかって 香美市でエコ！」への協力

香美市こどもエコクラブと香美市が中心となり、香美市内の環境を守る活動や県内の取組を紹介する体験型イベントが、今年度も実施されました。

当日は、高知県地球温暖化防止活動推進センターおよび高知県地球温暖化防止活動推進員の会の協力のもと、香美市こどもエコクラブが劇「気候変動劇場－ワリとギリギリっす」を上演し、気候変動への備えの重要性を来場者に伝えました。

また、えこらぼは、こどもエコクラブ全国事務局によるPRブース「ぼうさい×エコ活」の出展に協力し、こどもエコクラブ活動の普及を図りました。



- 開催日時 活動紹介・作品展示：令和7年8月23日（土）～24日（日）
メインイベント：令和7年8月24日（日）10:30～15:00
- 場 所 香美市立図書館「かみーる」
- 参加団体 香美市内外から10団体が参加
- 来場者数 213名



3 生物多様性地域戦略推進事業

1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催



「生物多様性こうち戦略」を推進するため、生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関する専門性を有する先導的な人材として、「生物多様性こうち戦略推進リーダー」（以下、リーダー）を養成する講座を開催しました。

初めて生物多様性について学ぶ人からある程度知識や活動経験のある人まで幅広い層を対象に、生物多様性の基本的な知識と「こうち戦略」についての知識を得られる内容としました。また、県内どこからでも受講しやすいよう、同じ内容の講座を会場（高知市）とオンラインの2回開催しました。

■登録状況

登録者数：134名 ※うち 令和7年度登録者：14名

◇令和7年度 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座

日程・会場

① 令和7年9月6日（土）10:00～12:30

こうち男女共同参画センター ソーレ3階 研修室1

② 令和7年9月7日（日）10:00～12:30 ZOOMによるオンライン開催

受講者：26名（会場15名、オンライン11名）

講座内容

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録制度の概要
..... 高知県林業振興・環境部 自然共生課
- ・「生物多様性こうち戦略および新しい国家戦略の目指すもの」
..... 高知大学 名誉教授 石川 慎吾 氏
- ・「地域資源の持続的活用と生物多様性」
..... 高知生物多様性ネットワーク 代表 岩瀬 文人 氏

2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアーの実施

地域における生物多様性保全や環境教育の担い手となる人材を育てることを目的に、リーダーが活動している現場の体験ツアーを実施しています。

『守り、つなげる生物多様性-遠山自然公園の取り組み-』（四万十町）

令和6年度の生物多様性こうちプラン大賞で「大賞（守るで賞）」を受賞した「遠山を守る会」は、四万十町で希少な植物の保護・保全活動を行う団体で、6名のリーダ

ーが所属しています。今回のツアーでは、「遠山を守る会」のみなさんに遠山自然公園のフィールドを案内してもらい、活動紹介を行うとともに、保全活動の体験として、希少種等の名札となる竹杭づくりを行いました。

日 時：令和7年10月19日（日）9:00～12:00
 場 所：遠山自然公園（四万十町数神）
 対象者：生物多様性こうち戦略推進リーダー等
 案内役リーダー：横山美穂さん、伴ノ内珠喜さん、武田茂雄さん、
 廣瀬奈美さん（遠山を守る会）
 参 加 者：9名



3) 生物多様性こうち戦略推進リーダースキルアップ講座の実施

リーダー自身の知識や技術の更なる向上と個々の活動団体が抱える課題の解決等をテーマにした講座を企画・実施しました。リーダーのスキルアップを図るとともに、リーダー相互の交流機会を創出することを本講座の目的とし、生物多様性の意義や保全の重要性について伝える力の向上を図る「知識編」と、地域における生物多様性の普及啓発や保全活動を“実践する”力を高める「実践編」を開催しました。

① 知識編

高知県の森林率の高さとその管理の重要性を踏まえ、県西部や剣山山系におけるシカによる食害の実態と森林・林業を取り巻く課題について学び、それらへの対策を通して、生物多様性の保全と持続可能な社会のあり方について考えました。

日時：令和7年12月6日（土）10:00～12:30

開催方法：こうち男女共同参画センター ソーレ3階
 研修室1（Zoomによるオンライン参加有）

受講者：9名

（会場5名、オンライン2名、オンデマンド2名）

◇講座内容

- 講義 1 森林、林業と生物多様性 – 高知県の森林、林業の現状と課題 –
講師：佐藤 重穂 氏
(森林総合研究所企画部広報普及科長、高知県環境審議会副会長)
- 講義 2 シカと共に生きる未来を考える
講師：押岡 茂紀 氏
((株) 西日本科学技術研究所、三嶺の森をまもるみんなの会)
- 質疑、意見交換



② 実践編

リーダーの課題解決力や実践力の向上を図ることを目的に、各自のフィールドでの活動を安心して実践し、継続するために役立つ講座を開催しました。

今回は事務局が話題提供者となり、安全に配慮した活動のポイントや、活動を継続する中で寄せられた困りごとへの対応のヒントを提示し、それを通して、継続的に相談・連携できる体制の重要性について共有しました。

日 時：令和 8 年 3 月 18 日 (水) 18:30~20:00

場 所：こうち男女共同参画センター ソーレ 3 階
研修室 2 (Zoom によるオンライン参加有)

参加者：10 名 (会場 2 名、オンライン 8 名)

◇講座内容

- ・ 自然の中で安全に配慮して活動するためのポイント
(下見、保険、セーフティトーク、ヒヤリハット等)
- ・ 活動を進める中で出てくる困りごとへのヒント
- ・ 質疑応答

◇話題提供

高知県環境活動支援センターえこらぼ 仁尾 かおり



4 環境イベントの開催

1) 「環境活動見本市 in 黒潮町 ー幡多のエコ大集合ー」の開催

高知県西部地域の環境活動団体や環境学習講師の活動を地域で紹介するとともに、学校や生涯学習の場への環境学習講師紹介・派遣の普及を図ることを目的とする、体験型環境学習イベントを開催しました。

日 時：令和 8 年 2 月 14 日（土）10:30～15:00

会 場：土佐西南大規模公園ふるさと総合センター
（幡多郡黒潮町入野 176-2）

対象者：こどもを含む家族連れ、環境活動に関心のある県民、学校関係者、生涯学習関係者等

参加者：250 人

出展団体数：16 団体

協 力：特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館



えこらぼの登録講師・団体等 16 団体が出展し、「海ごみアート」や「ミニ石積みを作ってみよう！」等の体験型環境学習プログラムや、生物多様性の保全活動等について学ぶ展示プログラムを提供しました。来場者からは、環境について考えるきっかけとなった、エコや自然について親子で考える良いイベントだと思った、などの感想が寄せられました。また、出展者同士の交流の機会にもなりました。

出展者 合計 16 団体

①NPO 団体・環境学習講師等：10

NPO 砂浜美術館、大方ホエールウォッチング、はーと・らいふ村、公益財団法人四万十川財団、BLUE BLUE、うみのこども、日本防災植物協会、高知おもちゃ病院しまんと診療所、高知県地球温暖化防止活動推進員の会、NPO 法人環境の杜こうち

②行政・公共施設等：4

四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会、四国森林管理局四万十川森林ふれあい推進センター、地球温暖化防止県民会議県民部会、高知県自然共生課

③企業：1

SAVE JAPAN プロジェクト

④学校・学生団体等：1

高知大学ウミガメサークル「かめイズム」

2) 自然観察会、ワークショップ等の環境学習会の開催

えこらぼの登録団体や環境学習講師による小規模な自然観察会やワークショップ等の環境学習会を開催しました。また、人材や資金の不足等により、単独では環境学習イベント等を主催することが困難な団体や講師に代わり、えこらぼが参加者の募集・受付、当日の運営補助等を行うなどの支援をしました。

① 鏡川清掃と野鳥観察会

高校生・大学生を対象に、鏡川で清掃活動と野鳥観察会を実施しました。ごみを減らすことで守られる身近な自然を体感するとともに、ごみを利用する野鳥の姿も観察されるなど、多様な発見がありました。

日時：令和7年4月6日（日）9:00～11:00

場所：高知市 鏡川右岸（紅葉橋～堰）

講師：濱田 哲暁（日本野鳥の会高知支部）、久武 将也（高知県自然観察指導員）

参加者：6名



② 秋のチョウの観察とモニタリング体験

身近な昆虫であるチョウを同じ場所で継続的に調べることで、身の回りの自然環境の変化を知ることができるチョウのモニタリング調査の普及啓発を行いました。



日 時：令和 7 年 10 月 25 日(土) 10:00～12:00

場 所：高知市 筆山公園

講 師：岡田 遼太郎 氏（高知昆虫研究会）

参加者：7 名

③ 自然観察会「野鳥観察会」

「環境活動見本市 in 黒潮町」の開催に合わせて、入野松原周辺に生息する小鳥や水辺の鳥などを観察する野鳥観察会を実施しました。双眼鏡を使った観察が初めてという親子連れの参加もあり、新たな参加者層への訴求につながりました。



日 時：令和 8 年 2 月 14 日(土) 10:30～12:00

場 所：土佐西南大規模公園ふるさと総合センター、入野松原、大方球場周辺

講 師：森 富美男 氏（高知野鳥の会）

参加者：9 名

④ 全国のスーパーマーケット お店のプラスチック包装 市民調査報告会

2023～2025 年度に「認定 NPO 法人環境市民」（京都市）が実施し、「くらしを見つめる会」（高知市）が調査員として参加した全国の市民調査の結果や、高知県内での関連する取り組みについて共有し、意見交換を行いました。



日 時：令和 8 年 3 月 15 日（日）13:30～15:00

場 所：高知市文化プラザかるぽーと 9 階 第 1 学習室

報告者：堀 孝弘 氏（NPO 法人環境市民）、内田 洋子（くらしを見つめる会）

参加者：10 名

⑤ 清掃活動&野鳥観察会 in 鏡川

4 月に開催した同イベントの参加者が、より多くの学生に参加してもらおうと、「ボランティア、初めの一步は鏡川から」を合言葉に企画・実施しました。拾ったごみは分類・計量し、ごみの発生原因や野生動物への影響などについて考える機会としました。

日 時：令和 8 年 3 月 21 日（土）9:00～11:00

場 所：高知市 鏡川右岸（紅葉橋～堰）

講 師：濱田 哲暁 氏（日本野鳥の会高知支部）、
久武 将也 氏（高知県自然観察指導員）

参加者：15 名



5 生物多様性の意義の普及・啓発

1) ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞



高知県内における生物多様性保全活動の主流化に向けて、県内のさまざまな地域における「生物多様性こうち戦略」の行動計画に沿った生物多様性の保全と持続可能な利用につながる取り組みを募集・表彰し、県民による生物多様性保全の取り組みを促進することを目的に、「令和7年度 ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞」を開催しました。

- ◇募集期間 令和7年11月1日（土）～12月1日（月）
- ◇応募対象者 高知県内で生物多様性の保全と持続可能な利用に資する取り組みを行う個人、団体、学校、事業者、市町村およびこれらの協働体。
- ◇対象とする取り組み
 - (1) 知る・広める 生物多様性の価値を知り社会全体で共有する取り組み
 - (2) つなげる 生物多様性を次世代につなぐ仕組みと基盤をつくる取り組み
 - (3) 守る 自然環境の保全と回復を図る取り組み
 - (4) 活かす 生物多様性の恵みを活かした地域産業の持続と活性化の取り組み
- ◇表彰の種類（知事表彰）
 - (1) 大賞（1組） 賞状、副賞5万円（又は相当品）
 - (2) 奨励賞（3組） 賞状、副賞各2万円（又は相当品）

① 選考委員会の開催

有識者6名からなる選考委員会を設置し、選考要領、募集要項等の策定、表彰の対象となる取り組みの選考を行いました。

■ふるさとのいのちをつなぐ こうちプラン大賞 選考委員

- 石川 慎吾 (高知大学名誉教授)
- 川崎 弘佳 (高知大学教育学部 非常勤講師)
- 竹村 優香 (みんなで作る まちづくり財団 HATA! 代表理事)
- 八田 章光 (高知工科大学 システム工学群 教授)
- 山下 竜幸 (高知大学医学部附属 先端医療学推進センター 助教)
- 濱口 卓也 (高知県林業振興・環境部 自然共生課長)

■選考委員会

令和8年1月17日（土）

② 応募受付

- ◇応募方法ホームページの応募フォーム、または所定の応募用紙に必要事項を記入し、メールか FAX、郵便で事務局へ送付又は持参
- ◇受付期間 令和7年11月1日（土）～12月1日（月）
- ◇応募数 9件

③ 交流・表彰イベント「生物多様性こうちプラン大賞交流会」の開催

応募者がそれぞれの取り組みをまとめたポスター等を展示し、他の応募者等とコミュニケーションを取りながら活動内容を伝え合う交流会を行いました。交流会に参加した全応募者の中から、選考委員により大賞1組、奨励賞3組を選考しました。

また、広く県民の来場を促し、生物多様性の普及啓発の機会とするため、認定 NPO 法人とくしまコウノトリ基金による活動紹介を行い、来場者および応募団体との交流を促しました。

日 時：令和8年1月17日（土）10:00～15:30

会 場：高知市文化プラザかるぼーと11階 大講義室

来場者数：76名 発表団体：9団体

プログラム： 認定 NPO 法人とくしまコウノトリ基金活動紹介

「コウノトリの定着からはじまる 地域の魅力発掘と活性化の取組」
ポスター発表交流会、選考結果発表・表彰式



④ 選考結果発表・表彰

以下の受賞者に賞状および副賞、記念品を授与しました。

[大 賞] (1組)

「生物多様性こうち戦略」が目指す、生物多様性の保全と持続可能な利用に資する優れた取り組み。

『鏡川水生生物研究会の発足と活動』 鏡川水生生物研究会

[奨励賞] (3組)

生物多様性の保全と持続可能な利用に資する今後の発展が期待される取り組み。

『「四万十つるの里づくり」をつなげ隊』 四万十市立東中筋小学校6年生

『クジラのうんこプロジェクト』 特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館

『にろうのべいす ー自然とのつながりを結いなおす里山空間のお手入れとは?ー』
WAvert(高知工科大学古民家サークル)とにろうのべいす環境改善推進協議会

2) 観光ガイドのための生物多様性講座

県内の観光ガイドや観光ボランティア団体等へ生物多様性に関する専門家を派遣し、生物多様性保全と地域の自然資源の持続的な活用について学ぶ講座を開催しました。

① 遠山を守る会

遠山自然公園で定期的に自然観察会のガイドを行い、希少種の保全活動にも取り組む遠山を守る会を対象に、植物生態学の専門家を招いた講座を開催しました。在来種・外来種の生態学的特性や保全活動の意義を学び、ガイドとして参加者に自然の価値と保全の大切さを伝えるための知見を深めました。



日 時：令和7年4月26日(土) 9:30~14:00

場 所：遠山自然公園(四万十町)

講 師：石川 慎吾氏(高知県環境審議会自然環境部会 部会長)

内 容：「生物多様性こうち戦略」について

「外来動植物の侵略戦術と在来種の防衛作戦、または共存について考えてみよう」

受講者：20名

② 高知 SGG 善意通訳クラブ

高知城で外国人観光客を案内するガイドを対象に、生物多様性の基礎知識(座学)と城周辺の野鳥・樹木をフィールドで学ぶ講座を開催しました。参加者からは、多様な野鳥や植物の価値など、日頃から案内をしている高知城の自然を新たな視点で見直すきっかけになったという声が多く聞かれました。生物多様性への理解を深めることで、外国からの観光の方々への案内がより豊かになることが期待されました。

日 時：令和 8 年 3 月 29 日(日) 9:30～12:00

場 所：高知県立文学館ホール、高知城

内 容：

座学「高知県における生物多様性について」

講師 石川 慎吾 氏（高知大学名誉教授

／高知県環境審議会自然環境部会 部会長）

フィールドワーク

「高知城に生息する鳥類・植物について」

講師 石川 慎吾 氏 濱田 哲暁 氏

（日本野鳥の会高知支部／認定 NPO 四国自然史科学センター 理事長）

受講者：16 名



3) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し

生物多様性こうち戦略推進リーダーの活動支援を目的として、講師活動やイベント出展時に活用できる普及啓発パネルやグッズ、資料等を整備していました。

しかし、「生物多様性こうち戦略【2024 改定版】」への移行に伴い、概要版の配布がパンフレットから PDF データに変更されたことに加え、パネルが高知県自然共生課の管理となったことや、コットンエコバッグの在庫切れなどにより、令和 7 年度は活用に至りませんでした。

6 環境活動団体の支援

1) 助成金情報の提供

メールマガジン「えこらぼだより」を通して、助成金や補助金募集に関する情報を提供しました。また、環境活動団体や生物多様性こうち戦略推進リーダー等を対象に、それぞれの活動内容に合った助成金等を個別に紹介したり、申請書の書き方についての助言を行ったりするなど、環境活動団体の外部資金獲得のための支援を行いました。

■メールマガジン「えこらぼだより」

助成金情報の提供 57 件

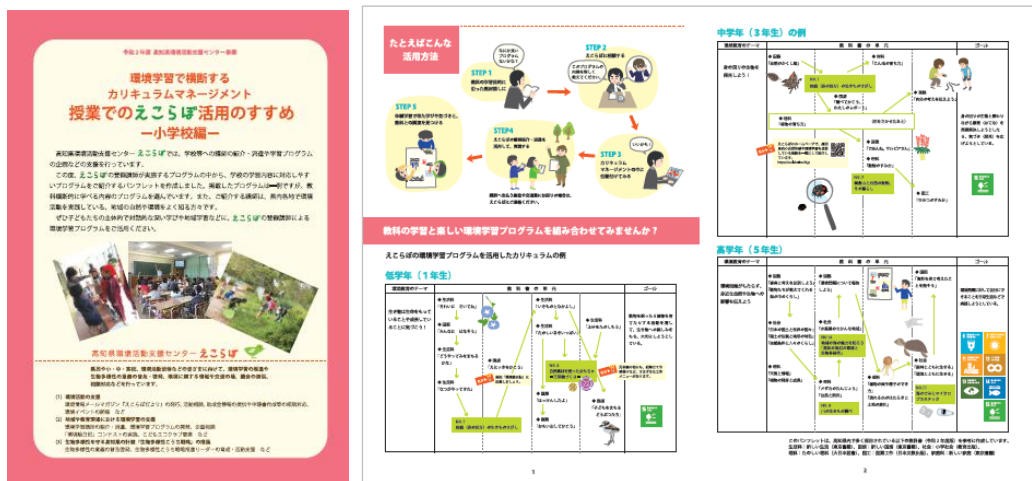
7 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務

1) 環境学習プログラムリストの作成・活用

学校の授業における環境学習機会の提供を促進するため、学校教員向けの環境学習プログラムリストを作成し、これを活用した授業の企画実施に取り組んでいます。

① 小学校向け環境学習プログラムリスト「環境学習で横断するカリキュラムマネジメント 授業でのえこらぼ活用のすすめ -小学校編-」の活用

県内の小学校において、令和2年度に作成した環境学習パンフレットを活用した授業が延べ36回行われ、1,478名が受講しました。



② 中学校および高等学校向けプログラムリストの作成・配布

地域や社会の課題に対する探究的な学びに対応したプログラムや専門性の高い講師を紹介するとともに、講師紹介・派遣事業の利用方法をまとめた資料を作成・配布し、外部講師による環境学習の実施を促進することとしました。

配布先：高知県内の中学校・高等学校、高知県及び市町村教育委員会等



③ 社会人向けプログラムリストの作成・配布

公民館やコミュニティーセンター等における生涯学習や、地域活動におすすめの学習テーマの例や、えこらぼの講師紹介・派遣の利用方法をまとめた資料を作成し、生涯学習担当者への情報提供としました。

配布先：高知県内の公民館、コミュニティーセンター、集落活動支援センター、高知県及び市町村教育委員会生涯学習課等 計 80 力所



生涯学習や地域活動に講師を紹介・派遣します
高知県環境活動支援センターえこらぼ

高知県環境活動支援センターえこらぼでは、市民の方々からのご相談に応じて、**無料**で生涯学習講師の紹介・派遣を行っています。

費用 講師に支払う謝金・交通費が全額ない場合は、えこらぼが負担します。

対象 環境問題や自然・生きもの等に詳しく、ご自身の分野や職業、地域などに応じて、お返ください。

環境活動について知らず
- 地域農業の改善 ・ 自然観察会
- 自然保護 ・ 環境アセスメント
- SDGs ・ 高知の自然・生物多様性 など

手づくりワークショップ
- 木のスプーン、お箸 ・ 草木染
- 筆染め作り ・ 塩のラフト作り
- 木のペンダント など

自然環境から学ぼう
- バードウォッチング ・ 虫による観察会
- 自然観察の楽しみもの観察会
- 自然観察会 ・ ビーチクレンジング など

地域の環境活動を推進
- 地域の自然環境を調査・見守り
- 地域で行っている環境活動に際する
- 専門家のアドバイスを依頼したい など

ご利用方法様式書をダウンロードください



えこらぼの環境学習講師紹介・派遣 ご利用手順

- 1 計画を立てる
目的やテーマ、希望する職業・経験者人数、いつどこで実施するか、また予算などの計画を立てましょう。
- 2 えこらぼに相談する
講師を希望している方から、目的にあったプログラムに講師を依頼します。また、えこらぼのホームページに掲載された講師一覧から検索することもできます。講師の希望する日・時間・場所の調整に、内容や日程等の調整を行います。
- 3 講師と打合せ
講師から予定の取付いたる、講師の経歴、実施日や内容の可否を伝えてください。
- 4 講師派遣料の精算
講師との打ち合わせ後、えこらぼに講師派遣料を申し込めます。
- 5 当日会の実施
- 報告書の提出

● 講師に支払う謝金・交通費の手続きがない場合は、えこらぼが負担します。
● 自然観察プログラム、自然観察会など、詳しくは本ページのQRコードからご確認ください。

高知県環境活動支援センターえこらぼとは
県民一人ひとりの環境への関心を高めて、積極的に参加しつづけていくことを目指すため、県民の環境意識や環境学習の裾野を拡大し、環境問題の解決や環境学習の促進、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及啓発などの事業を行っています。

お申し込み・お問合せ
高知県環境活動支援センターえこらぼ
TEL:088-822-7745 FAX:088-822-2205
e-mail:eco@eco.sas-408.jp ホームページ:https://ecoblog.sas-408.jp/
〒781-0835 高知市志保二丁目11-18 高知こころ交流環境センター「シラシラ」3F
ご利用時間 月曜日 10:00~17:00 火・金曜日 10:00~18:00
※休館日、臨時休館日、祝日は本館閉館日

2) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布

高知県がめざす、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の 3 つの社会づくりに向け、県民一人ひとりの行動変容を促すことを目的としたポケット版リーフレット「まもろうここの環境」を、えこらぼが実施するイベントや環境学習の参加者等に配布しました。



8 PR 活動

1) PR ツールの活用

えこらぼの認知度・存在感の向上を図るため、パンフレットよりも気軽に受け取ってもらえる PR ツールとして、えこらぼの連絡先や URL、事業案内を記した名刺大のカードをイベントや環境学習の参加者に配布しています。



2) 報道機関への情報提供

センターが行うイベント等の実施に際しては、事前の報道機関への情報提供や後援申請を確実にいき、取材や情報発信を要請しました。

■報道実績

媒体		日付	内容
ラジオ	RKC 高知放送	2/9	「エコエコアラカルト」 環境活動見本市 in 黒潮町
		3/16	「エコエコアラカルト」 清掃活動&野鳥観察会 in 鏡川
新聞	高知新聞	2/4, 2/13	「こみゅっと」 環境活動見本市 in 黒潮町
テレビ	KUTV テレビ高知	9/21	「がんばれ高知!!eco 応援団」 こうち環境博 2025
		3/29	「がんばれ高知!!eco 応援団」 環境活動見本市 in 黒潮町

9 センターの運営

1) センターの開館日及び開館時間

月曜日 10:00～17:00 火～金曜日 10:00～18:00
休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日、第2水曜日、
年末年始（12月29日～1月3日）、
その他イベントの実施等に伴う臨時休館日（HP等で事前に告知）

2) 運営委員会の組織・運営

有識者等で構成する運営委員会を設置・開催し、センター事業への助言を得ました。

■令和7年度高知県環境活動支援センター業務外部運営委員 名簿（敬称略）

	団体名	役職	氏名
委員長	高知大学 教育研究部 自然科学系 理工学部門	准教授	比嘉 基紀
委員	公益財団法人四万十川財団	事務局長	神田 修
	特定非営利活動法人いなかみ	理事長	近藤 純次
	高知市教育研究会環境教育部会	代表	北岡 愛
	高知県林業振興・環境部自然共生課	課長	濱口 卓也
	特定非営利活動法人環境の杜こうち	副理事長	西尾 健一

■第1回運営委員会

令和7年6月6日（金）13:30～15:30

■第2回運営委員会

令和8年3月26日（木）10:00～11:50

3) 高知県との定期連絡会の開催

業務内容や運営方法等について、県所管課と協議する連絡会を行いました。

■第1回 4月 10日(木)

■第2回 7月 9日(水)

■第3回 10月 8日(水)

■第4回 1月 8日(木)

**高知県環境活動支援センターえこらぼ
令和7年度の取り組み**

発行日	令和8年3月
発行	高知県環境活動支援センターえこらぼ (令和7年度高知県環境活動支援センター事業)
所在地	〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3階
電話	088-802-7765
FAX	088-802-2205
E-mail	center@ecolabo-kochi.jp
ホームページ	http://ecolabo-kochi.jp/
利用時間	月曜日 10:00~17:00 火~金曜日 10:00~18:00 ※土曜日、日曜日、祝日、第2水曜日休み
管理運営団体	特定非営利活動法人 環境の杜こうち